

<p>投稿年月日</p>	<p>令和3年1月5日</p>	<p>投稿者</p>	<p>市内在住 50代 男性</p>
<p>ご意見・ご提案内容</p>	<p>3年ほど前、娘の車の右後輪の側面に傷が入り、パンク修理不能のため新品タイヤに交換した。さらに数週間後、今度は左後輪の側面に同じような傷が入りパンク。「どこか悪路でも走行したのか？」などと、特段原因を究明しなかった。</p> <p>その2年後の11月27日、私はたまたま「原城図書館」に行った。来館者用の駐車スペースにバックで駐車しようとした際、後輪が何かを擦った。車を降りて確認すると、駐車スペースの間に設けてある「植え込みのブロック」の角に、タイヤが縁石していた。</p> <p>その瞬間、全ての疑問が解けた。当時娘は、原城図書館に良く出掛けていた。相次ぐパンクは、この縁石によるものだったのだ。</p> <p>図書館の職員に「この駐車スペースで、今まで縁石の事例はなかったですか？」と尋ねると、「何度かありました」とのこと。</p> <p>十数か所ある高さ10cmほどのブロックを確認したところ、タイヤ痕や削れを全てに確認。今まで多くの車が縁石していた何よりの証拠である。</p> <p>(同日、生涯学習課へ電話)</p> <p>「この植え込みは来館者の車が縁石する危険性がある。市民が悲しい思いや不愉快な思いをしないよう、ポールを立てるかブロックの角を削るなど、何かの対策が必要です」とお願いしたところ、早速コーンを立てて対応して下さいました。</p> <p>そして2020年12月28日、およそ1年振りに原城図書館に出掛けたところ「立っていたはずのコーンが撤去されていた」。</p> <p>(その場で生涯学習課に電話を入れる)</p> <p>聞けば「見栄えが悪いとの声があったから撤去した」とのこと。さらに、撤去した時期を尋ねると「半年ほど前に撤去した」との解答。私は「縁石の危険性」を再度訴え、対策を講じて頂くよう切願。「早速対策するようにします」との返事を頂いた。</p> <p>そして、本日(2021年1月5日午前)現場を確認するも、未対応の状態だった。</p> <p>決して個人的なことではない。「縁石によるタイヤのパンクにより、市民の皆さんが悲しい思いや不愉快な思いをしないよう」お願いするだけのこと。「開館以来今まで何もなかったから・・・」などでの理由では物事の「改善」は望めない。市民の「安心・安全」を守るため、改善すべきは改善してほしい。</p> <p>コーンを撤去したおよそ半年間、縁石の危険性を平然と放置したその真意は何か？</p> <p>さらに、今後どのような対策を講じていただけるのか？ご解答を頂きたい。</p>		
<p>回答</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>原城図書館の駐車スペースの植栽の縁石につきましては、当初、ご指摘をいただき、令和元年12月にカラーコーンを設置いたしました。</p>		

	<p>しかし、設置後に、利用者の方から「駐車するときに障害になる」や、「赤いコーンがあり休館していると勘違いした」との声があったため、撤去したと館長から報告を受けております。</p> <p>縁石に蛍光塗料を塗るか、縁石の角を削るなどの対策を検討した結果、縁石の角を白色で塗装し、また、小型のコーンを設置するように対応いたしました。</p> <p>ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>
担当課	生涯学習課